

令和 3年 9月 30日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

荒尾市保健・福祉・子育て支援施設(仮称)基本構想等策定委員会
委員長 田中 尚人

荒尾市保健・福祉・子育て支援施設（仮称）基本計画（案）について（答申）

令和3年5月18日付け荒未来第169号をもって本委員会に諮問のあった標記の件について、慎重な審議の結果、「荒尾市保健・福祉・子育て支援施設(仮称)基本計画(案)」として成案を得ましたので、ここに答申します。

なお、3回にわたる本委員会における各委員の発言を踏まえ、下記の付帯意見を添えますので、これらの意見に十分配慮して荒尾市保健・福祉・子育て支援施設（仮称）の整備を実施されるようお願いいたします。

記

- 1 本施設の整備にあたっては、行政、社会福祉協議会などの保健、福祉、子育てに関する機能を集約するとともに、市民や各種団体と関係性を構築しながら、機能やサービスの最適化を図り、SDGsの理念に基づく「誰一人取り残さない社会的孤立のないまちづくり」を推進されますよう要望します。
- 2 各種団体、市民によるボランティア活動など、本施設の運営への関わりを通じて、荒尾市の保健・福祉・子育てについて自分ごととして考えられるような人づくり・人材育成や意識醸成を図り、荒尾市全体のウェルネスの実現に努めてください。
- 3 本施設に加え南新地地区に計画されている道の駅や宿泊施設、温浴施設、アウトドア施設等の機能を相互に連携させることで、他にはない価値を創出し、市民と来訪者の心身のウェルネスを高めるよう努めてください。
- 4 運営事業者を選定するにあたり、民間の意向を踏まえた詳細な施設計画及び運営計画を検討し、持続可能な運営が実現できる施設の整備に努めてください。
- 5 道の駅あらお(仮称)との複合化については、本施設との近接性を活かし、機能連携を充実させる観点において、大きな効果を発揮することが期待でき、またコスト削減も期待されるものであるため、その相乗効果を最大化するよう努めてください。